



2019年8月22日

株式会社リクルート北海道じゃらん

# 「じゃらん北海道版旅行者動向調査2019」

- 直近1年間（2018年4月～2019年3月）に行った宿泊旅行先  
1位は「札幌」、2位「定山溪温泉」、3位「函館・湯の川温泉」で昨年度と変動なし
- 満足した宿泊旅行先1位は、昨年度から引き続き「余市・仁木・キロロ」
- もう一度行きたい宿泊旅行先1位は「積丹・岩内」

株式会社リクルート北海道じゃらん（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：内海裕晃）は、この度、全道1,817人の旅行者を対象に「じゃらん北海道版旅行者動向調査2019」を実施しました。今年5回目となるこの調査は、北海道在住者の観光などを目的とした宿泊を伴う北海道旅行の実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2018年度（2018年4月～2019年3月）における旅行実態について、行先や目的、旅行費用などを調査しました。また今回の調査より、日帰り旅行に関するマーケット動向も項目を増やして調査しています。主な結果は以下の通りです。

## <TOPICS>

※宿泊旅行・・・北海道内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

### 【直近1年間に行った旅行の回数】・・・P3

2018年度の北海道在住者における宿泊を伴う道内旅行の回数は2.51回で昨年度より微減。日帰りでの旅行も4.34回で微減。

### 【直近1年間で訪れた北海道の旅行先】・・・P3

宿泊旅行では、1位「札幌」、2位「定山溪温泉」、3位「函館・湯の川温泉」で昨年度同様。「阿寒湖温泉」がTOP10入り。日帰り旅行では、1位「札幌」、2位「小樽」、3位「支笏湖・千歳」となった。

### 【同行者と旅行時期】・・・P4～P5

宿泊旅行の同行者は1位「配偶者」、2位「未就学児連れ家族旅行」、3位「小学生連れ家族旅行」。旅行時期は、昨年度同様「8月」「3月」の順に並ぶが、「9月」が4位から3位に。日帰り旅行の同行者は1位「配偶者」、2位「未就学児連れ家族旅行」「小学生連れ家族旅行」。旅行時期は1位「3月」、2位「8月」、3位「7月」となった。

### 【宿泊旅行にかけられた費用】・・・P6

1回あたりの平均費用は昨年度より1,169円減の2万3,395円と減少。宿泊費8,929円、交通費5,884円、現地小遣い8,581円。一方、釧路への宿泊旅行費は昨年度より5,114円増加し、2万8,054円に。札幌、函館・湯の川温泉、帯広でも増加した。

### 【宿泊エリアでの消費行動】・・・P7

チェックイン前は「昼食」が3割を上回り最多、チェックイン後・チェックアウト後には「何もしなかった」が最多。札幌では「食」、帯広は「スイーツ」、函館・湯の川温泉は「食」「観光」「買い物」に関する消費行動が多い。

### 【旅行時の目的】・・・P8

宿泊旅行の目的は、1位「温泉」、2位「夕食」、3位「宿でのんびり」と昨年度から変動はない。日帰り旅行の目的は、1位「昼食」、2位「ドライブ」、3位「温泉」となった。

### 【宿泊旅行先を選んだきっかけ】・・・P9

「特定の観光地に興味」「良い宿・ホテル」「魅力的な温泉」が5割以上を占める。

### 【宿泊旅行後の満足度とリピート意向】・・・P10

総合的な満足度は北海道全体で84.5%と昨年より2.5ポイントアップ。リピート意向も86.8%で1ポイントアップ。満足度90%以上の旅行先は、「余市・仁木・キロロ」「知床（ウトロ・羅臼）」「利尻・礼文」「洞爺湖温泉」「函館・湯の川温泉」の5エリア。リピート意向90%以上は、「積丹・岩内」「天人峡・旭岳温泉・東川」「登別温泉」「函館・湯の川温泉」「洞爺湖温泉」「知床（ウトロ・羅臼）」「富良野」「余市・仁木・キロロ」の8エリア。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルート北海道じゃらん 担当 西村麻衣子  
 TEL: 011-219-2511 E-mail:koho\_rhj@hokkaido-jalan.co.jp

# 調査概要と回答者プロフィール

## 【調査概要】

- 調査名： じゃらん北海道版旅行者動向調査2019
- 調査目的： 北海道在住の北海道旅行実施者に対して、日帰り・宿泊旅行の動向を知るために実施した。
- 調査方法： インターネットによる調査
- 調査時期： 2019年5月27日（月）～31日（金）
- 調査対象： 札幌・旭川・函館・帯広・釧路・北見在住の20～69歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）  
昨年度1年間（2018年4月～2019年3月）に北海道旅行をしたと回答した1,817名
- 調査内容： 昨年度1年間（2018年4月～2019年3月）に実施した北海道旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先（全道57エリア）について。  
また、1人最大3回までの日帰り・宿泊旅行について、具体的な内容を調査した。

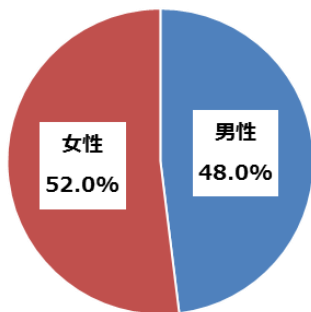
## 【対象旅行先】

	振興局	エリア名		振興局	エリア名		振興局	エリア名
1	石狩	札幌	21	渡島・檜山	松前・江差・上ノ国	41	オホーツク・根室	網走・大空・美幌
2	石狩	定山溪温泉	22	渡島・檜山	八雲・長万部・今金・せたな	42	オホーツク・根室	北見
3	石狩	支笏湖・千歳	23	渡島・檜山	奥尻	43	オホーツク・根室	知床（ウトロ・羅臼）
4	石狩	江別・恵庭・北広島	24	空知	栗山・長沼・由仁・夕張	44	オホーツク・根室	湧別・遠軽・サロマ
5	石狩	石狩・当別・新篠津	25	空知	岩見沢・美唄・三笠	45	オホーツク・根室	紋別・滝上
6	後志	小樽	26	空知	沼田・北竜・秩父別	46	オホーツク・根室	根室・別海・中標津
7	後志	朝里川温泉	27	空知	深川・芦別 ※1	47	上川	旭川
8	後志	二セコ・倶知安・蘭越	28	空知	滝川・砂川 ※1	48	上川	上川・層雲峡温泉
9	後志	ルスツ・真狩・京極	29	十勝	帯広	49	上川	天人峡・旭岳温泉・東川
10	後志	余市・仁木・キロロ	30	十勝	十勝川温泉	50	上川	富良野
11	後志	積丹・岩内	31	十勝	新得・清水・芽室	51	上川	美瑛・白金温泉
12	胆振・日高	登別温泉	32	十勝	鹿追・然別・士幌・上士幌	52	上川	トマム・占冠
13	胆振・日高	室蘭	33	十勝	中札内・更別・大樹・広尾	53	上川	名寄・士別・剣淵・和寒
14	胆振・日高	伊達・北湯沢温泉・壮瞥	34	十勝	陸別・足寄・本別・池田	54	宗谷・留萌	稚内
15	胆振・日高	洞爺湖温泉	35	十勝	幕別・豊頃・浦幌	55	宗谷・留萌	利尻・礼文
16	胆振・日高	苫小牧・白老	36	釧路	釧路	56	宗谷・留萌	留萌・増毛
17	胆振・日高	日高・えりも	37	釧路	阿寒湖温泉	57	宗谷・留萌	羽幌・天売・焼尻
18	渡島・檜山	函館・湯の川温泉	38	釧路	厚岸・浜中	58		その他
19	渡島・檜山	大沼・七飯・森・鹿部	39	釧路	川湯・屈斜路			
20	渡島・檜山	北斗・木古内・知内・福島	40	釧路	鶴居・白糖・標茶			

昨年度は、以下の区分として聴取  
※1「深川・滝川・砂川・芦別」

## 【回答者プロフィール】（n=1,817）

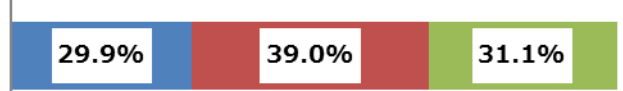
○性別  
(n=1,817)



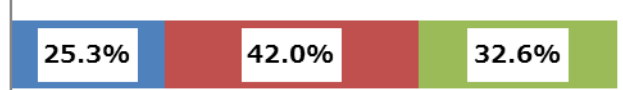
○年代  
(n=1,817)

■ 20～34歳 ■ 35～49歳 ■ 50～69歳

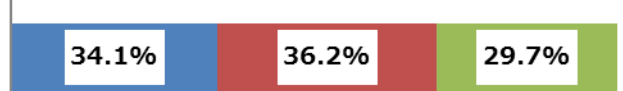
全体  
(n=1,817)



男性  
(n=873)

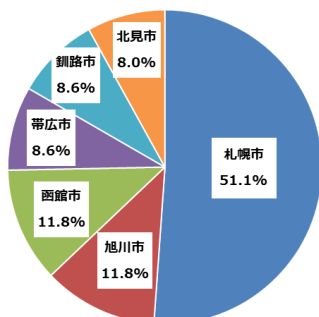


女性  
(n=944)



※小数点第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある

○居住地域  
(n=1,817)



## 道内旅行の回数は宿泊・日帰りともに微減 直近1年間に行った旅行先は「札幌」が1位

直近1年間の宿泊を伴う北海道旅行の回数は、昨年度より0.01回減の2.51回と微減。  
日帰り回数は、昨年度より0.2回減の4.34回と微減。

直近1年間に行った宿泊旅行先は、7位まで昨年度と同様の結果に。

日帰り旅行先は1位「札幌」、2位「小樽」、3位「支笏湖・千歳」となった。

■直近1年間に行った宿泊旅行先として上位10エリアを見ると、「札幌」を含めいずれも「札幌」からの旅行者の割合が大きい。「札幌」以外の居住地を見ると、「札幌」への旅行者は「函館」からが21.2%、「定山溪温泉」への旅行者は「旭川」からが10.6%、「函館・湯の川温泉」へは「函館」からが10.2%、「小樽」へは「旭川」「函館」からが14%、「帯広」へは「旭川」「釧路」からが12.7%を占める。また「阿寒湖温泉」が3年ぶりにTOP10入りを果たした。

■直近1年間で行った日帰り旅行先でも、「札幌」を含めほぼ「札幌」からの旅行者の割合が大きい。しかし「帯広」へは「釧路」からが29.3%と最多。また「富良野」へは「札幌」からが55.7%だが、次いで「旭川」が26.2%を占める。

### 【直近1年間に行った道外旅行／北海道旅行／日帰りでのお出かけの回数（単一回答）】

2018年4月～2019年3月に行った「宿泊を伴う旅行（車中泊、キャンプも含む、出張や帰省、修学旅行等は除く）」「日帰りでのお出かけ」について、あてはまるものを回答（単一回答）

	平均回数
1年間に行った宿泊を伴う道外旅行の回数 (n=600)	2.11
1年間に行った宿泊を伴う北海道旅行の回数 (n=1,817)	2.51
1年間に行った北海道への日帰りでのお出かけの回数 (n=1,540)	4.34

### 【直近1年間で訪れた北海道内の宿泊旅行先（複数回答）】

2018年4月～2019年3月で北海道の地域の中で、「宿泊を伴う北海道旅行」で訪れたエリアを全て選択（いくつでも）

※居住地の数値は、旅行先を訪れた人の構成比

※小数点第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある

n=1,817・延べ回答数=6,064件

順位	旅行先エリア	宿泊した人の割合	居住地						合計 (%)
			札幌市	旭川市	函館市	帯広市	釧路市	北見市	
1	札幌	39.7%	24.2	12.9	21.2	14.5	14.0	13.2	100
2	定山溪温泉	25.9%	71.9	10.6	8.3	3.2	3.6	2.3	100
3	函館・湯の川温泉	18.3%	67.0	9.3	10.2	5.7	3.6	4.2	100
4	小樽	15.3%	54.7	14.0	14.0	7.2	5.8	4.3	100
5	帯広	15.1%	54.9	12.7	3.6	5.8	12.7	10.2	100
6	旭川	12.2%	59.7	10.9	4.5	7.7	4.1	13.1	100
7	登別温泉	11.4%	65.7	9.2	13.5	4.8	2.9	3.9	100
8	二セコ・倶知安・蘭越	10.6%	68.9	5.7	16.1	3.1	3.1	3.1	100
9	洞爺湖温泉	9.8%	66.3	6.7	19.7	2.8	3.9	0.6	100
10	阿寒湖温泉	9.5%	38.4	9.3	1.2	13.4	23.3	14.5	100

### 【直近1年間で訪れた北海道内の日帰り旅行先（複数回答）】

2018年4月～2019年3月で北海道の地域の中で、「日帰りの北海道旅行」で訪れたエリアを全て選択（いくつでも）

※居住地の数値は、旅行先を訪れた人の構成比

※小数点第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある

n=1,540・延べ回答数=4,567件

順位	旅行先エリア	日帰りした人の割合	居住地						合計 (%)
			札幌市	旭川市	函館市	帯広市	釧路市	北見市	
1	札幌	20.5%	57.5	13.7	9.4	12.1	2.4	4.8	100
2	小樽	16.3%	90.2	5.4	2.4	0.7	0.0	1.3	100
3	支笏湖・千歳	10.5%	80.5	4.7	4.7	7.4	1.1	1.6	100
4	定山溪温泉	9.6%	93.1	2.3	2.3	0.6	0.6	1.1	100
5	江別・恵庭・北広島	8.9%	84.5	4.3	1.2	6.8	0.0	3.1	100
6	二セコ・倶知安・蘭越	8.8%	83.1	3.8	10.6	0.6	0.0	1.9	100
7	富良野	8.2%	55.7	26.2	0.0	10.7	1.3	6.0	100
8	石狩・当別・新篠津	7.8%	90.8	5.0	0.0	1.4	0.0	2.8	100
9	帯広	7.7%	27.1	8.6	0.7	14.3	29.3	20.0	100
10	岩見沢・美瑛・三笠	7.3%	78.0	9.8	1.5	4.5	0.0	6.1	100

# 宿泊・日帰りともに、同行者は「配偶者」が最多 旅行時期は、宿泊は「8月」、日帰りは「3月」が最多

宿泊旅行の同行者は1位「配偶者」、2位「未就学児連れ家族旅行」、3位「小学生連れ家族旅行」と続く。日帰り旅行では2位に「未就学児連れ」「小学生連れ」が並ぶ。宿泊旅行の時期は「9月」が昨年度から0.2ポイントアップし、4位から3位となった。日帰り旅行の時期は、1位「3月」、2位「8月」、3位「7月」と続く。

■ 宿泊旅行の同行者は、昨年度同様「配偶者」の割合が高いが、北海道全体で見ると昨年度（43.4%）より3.8ポイントダウン。旅行先エリアごとに見ても、函館・湯の川温泉、釧路を除き、減少している。一方で、北海道全体で「一人旅」が昨年度（9.8%）より0.7ポイントアップし10.5%となった。また、釧路では「未就学児連れ家族旅行」が昨年度（6.1%）より6.8ポイントアップし12.9%、「小学生連れ家族旅行」が昨年度（6.1%）より7.8ポイントアップし13.9%となるなど、子連れ旅行の増加が見られた。

■ 宿泊旅行の旅行時期は、昨年度同様「8月」が最多で15.1%（昨年度同様）、「3月」13%（昨年度11.5%）と続く。昨年度4位の9月（10%）が0.2ポイントアップし3位となった。また、「11月」から「3月」のすべての月で昨年度よりも微増しており、やや冬季旅行の増加が見られた。日帰り旅行の旅行時期は1位が「3月」で、旅行先エリアごとに見ても、釧路を除いてすべてのエリアで最も割合が高い。釧路では「8月」が24.4%と最多。

## 【宿泊旅行の同行者（複数回答）】

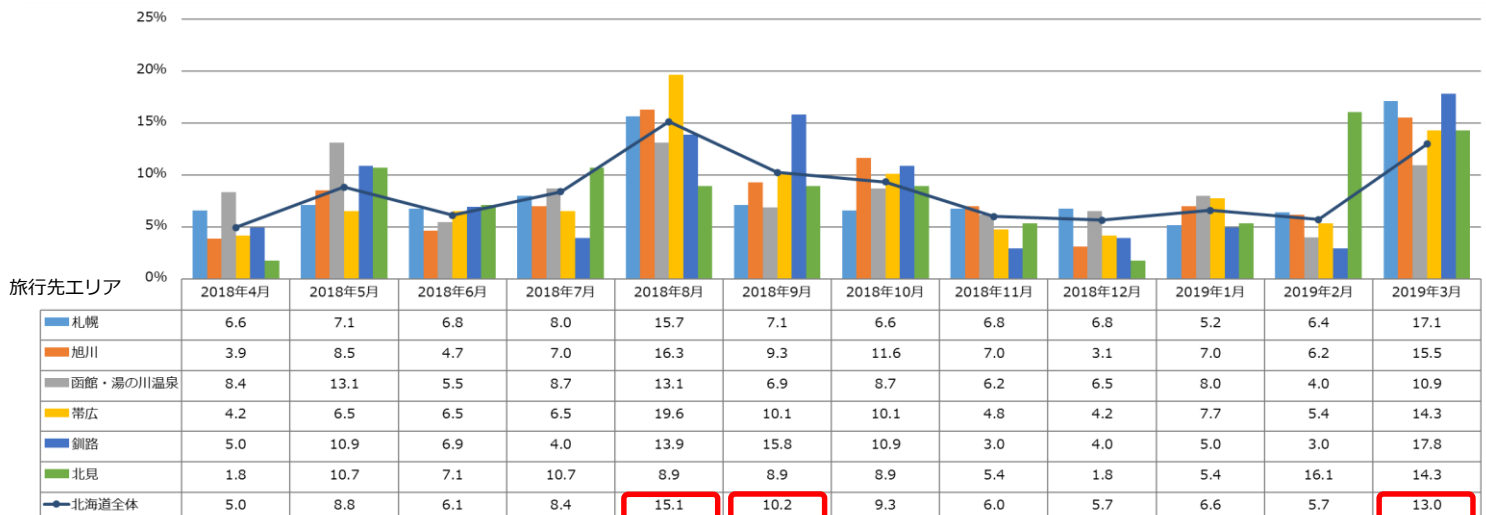
＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件・延べ回答数=4,723件＞



## 【宿泊旅行の時期（単一回答）】

エリアへの旅行の時期について、出発した月としてあてはまるものをそれぞれひとつずつ回答

＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件＞



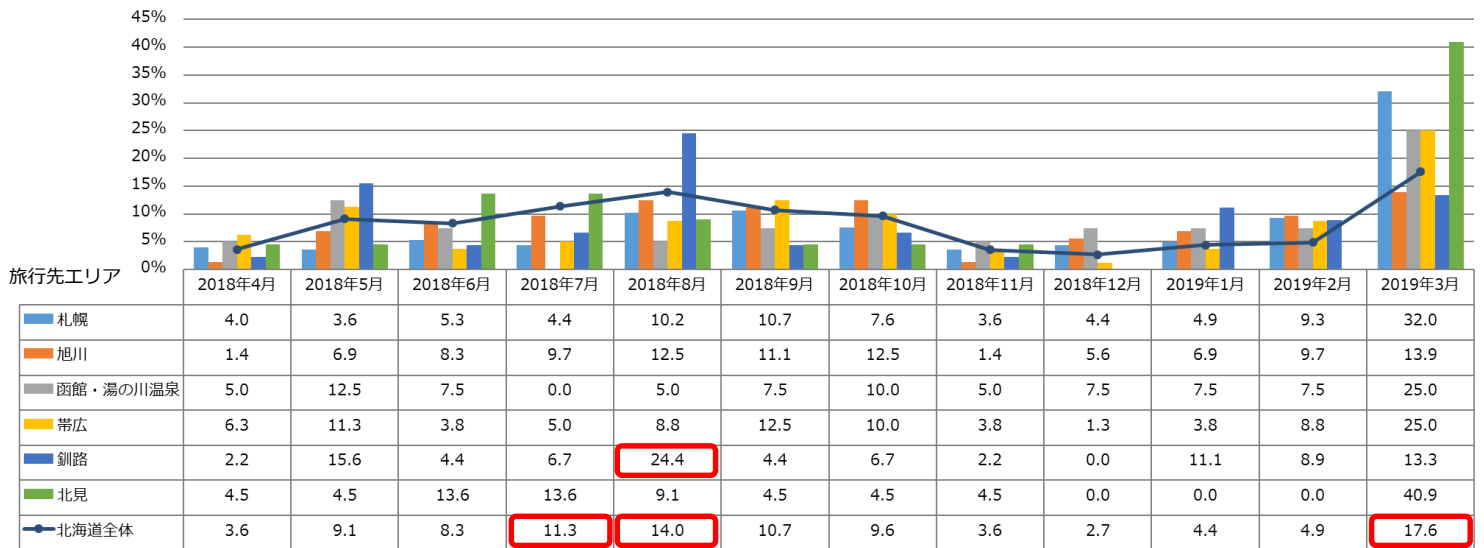
## 【日帰り旅行の同行者（複数回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,159件・延べ回答数=2,748件>



## 【日帰り旅行の時期（単一回答）】

エリアへの旅行の時期について、出発した月としてあてはまるものをそれぞれひとつずつ回答  
<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,159件>





# 宿泊旅行費用総額は昨年度より1,169円減の2万3,395円 「札幌」「釧路」など4都市で旅行費用総額が増加

昨年度同様、費用は「札幌」での現地小遣いが最多、昨年度より647円増の1万9,165円と微増（昨年度1万8,518円）。

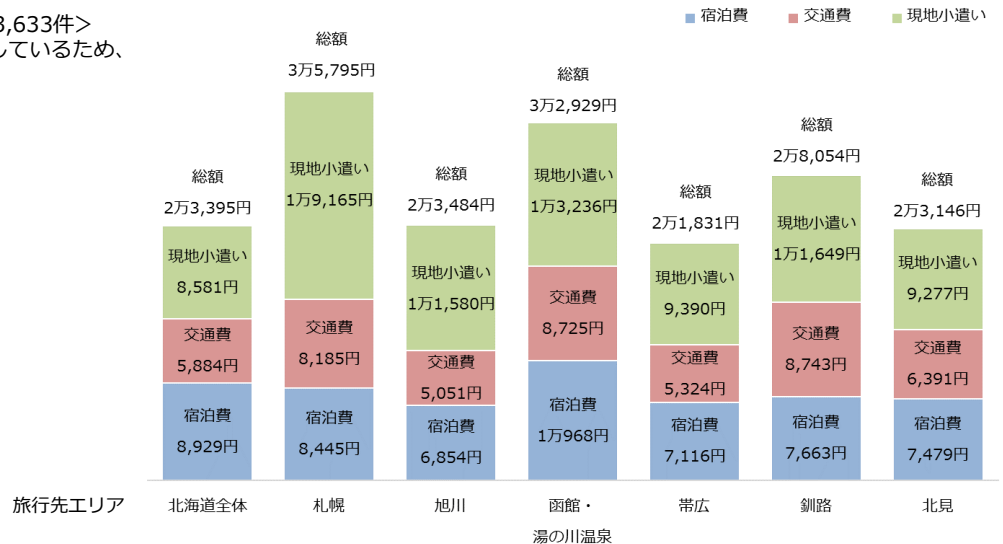
「札幌」「函館・湯の川温泉」「帯広」「釧路」で旅行費用総額が増加。宿泊エリアへの到着時間は、「午前」が1.4ポイントアップ、「午後」が0.3ポイントダウン。出発時間は、「午前」が1.9ポイントダウン、「午後」が0.7ポイントアップした。

■ 宿泊旅行1回あたりの1人の費用総額は、平均で2万3,395円。宿泊費8,929円、交通費5,884円、現地小遣い8,581円（昨年度費用総額2万4,564円、宿泊費9,159円、交通費5,321円、現地小遣い1万84円）。昨年度より交通費のみ微増、宿泊費・現地小遣いは減少した。「札幌」では宿泊費・交通費・現地小遣いともに微増（昨年度費用総額3万3,955円、宿泊費7,735円、交通費7,703円、現地小遣い1万8,518円）。「釧路」でも宿泊費・交通費・現地小遣いすべてが増加し、総額で5,114円の大幅な増加（昨年度費用総額2万2,940円、宿泊費6,675円、交通費5,832円、現地小遣い1万433円）。一方で「札幌」「釧路」を除いた4都市で現地小遣いが微減している（「旭川」では328円減 [昨年度現地小遣い1万1,908円]、「函館・湯の川温泉」では505円減 [昨年度現地小遣い1万3,741円]、「帯広」では429円減 [昨年度現地小遣い9,819円]、「北見」では411円減 [昨年度現地小遣い9,688円]）。

■ 宿泊エリアへの到着時間・出発時間は昨年度から大きな変動はない。エリア別にみると、旭川への到着時間が「午前」27.9%と、昨年度（20%）より7.9ポイントアップ。出発時間では、北見が「午前」82.1%、帯広が「午後」31%、旭川が「夕方」17.1%と、比較的高くなっている。

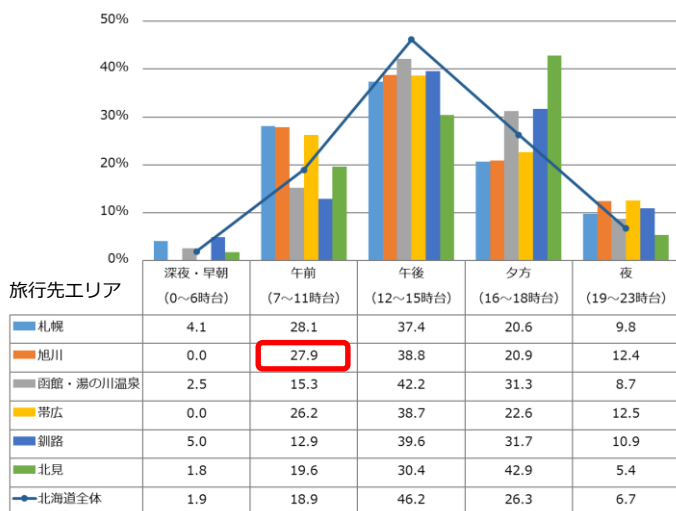
## 【宿泊旅行1回あたりにかかった費用（数値回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件>  
※金額については、一の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある  
※異常値は除いて集計



## 【エリアに到着した時間（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件>



## 【エリアから出た時間（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件>



# 札幌では「食」、帯広は「スイーツ」 函館・湯の川温泉では「食」「観光」「買い物」

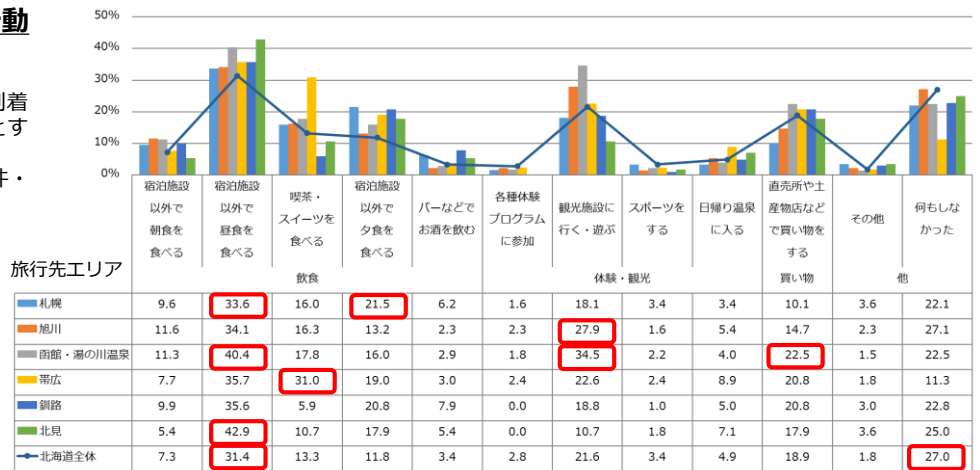
チェックイン前は「昼食」、チェックイン後、チェックアウト後は「何もしなかった」がいずれも最多で約3割。札幌では「昼食」「夕食」が多く、帯広では「喫茶・スイーツを食べる」が昨年度より増加。函館・湯の川温泉では特に「観光施設に行く」「直売所などで買い物する」人が多い傾向に。

チェックイン前には「昼食を食べる」人が多く、昨年度よりも増加している。エリア別では函館・湯の川温泉、北見が多い。さらに函館・湯の川温泉、旭川では「観光施設に行く」人が多い。チェックイン後には「直売所などで買い物」が高いが、主要6都市で見ると「宿泊施設以外で夕食」がいずれも約3割を占める。また北見、釧路で「バーなどでお酒を飲む」が昨年度より増加した。チェックアウト後も「直売所などで買い物」「昼食」が高く、特に函館・湯の川温泉では3割を超える。また札幌、釧路で「宿泊施設以外で朝食」が昨年度より増加。帯広では「喫茶・スイーツを食べる」人がどのシーンにおいても多い。

## 【エリア到着後、チェックイン前の消費行動（複数回答）】

エリアへの宿泊旅行において、1日目に宿泊エリアに到着してから宿泊施設にチェックインするまでに行ったことすべてを選択（それぞれいくつでも）

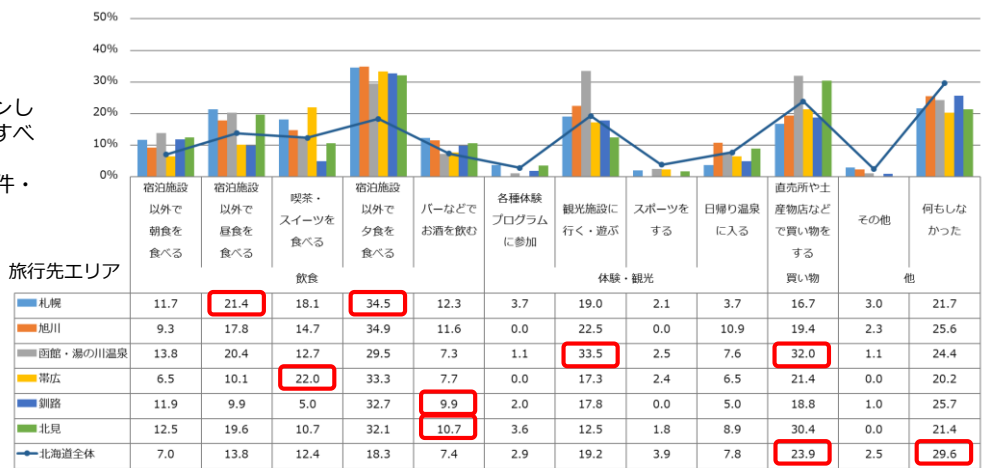
<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件・延べ回答数=5,362件>



## 【チェックイン後、チェックアウトするまでの消費行動（複数回答）】

エリアへの宿泊旅行において、宿泊施設にチェックインしてから最終日にチェックアウトするまでに行ったことすべてを選択（それぞれいくつでも）

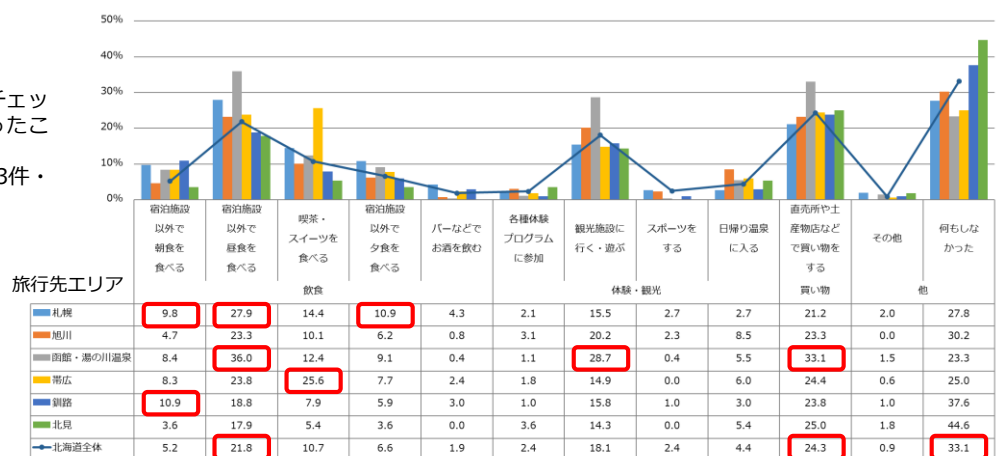
<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件・延べ回答数=5,403件>



## 【チェックアウト後、宿泊エリアを出るまでの消費行動（複数回答）】

エリアへの宿泊旅行において、最終日に宿泊施設をチェックアウトした後、宿泊エリアから外に出るまでに行ったことすべてを選択（それぞれいくつでも）

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件・延べ回答数=4,789件>



# 今年も宿泊旅行の3大目的は変わらず 日帰り旅行の目的は「昼食」「ドライブ」「温泉」

宿泊旅行の目的は、1位「温泉や露天風呂」、2位「夕食に地元の美味しいもの」、3位「宿でのんびり過ごす」と昨年度から変動はなかった。エリア別では、札幌は「ショッピング」が突出、旭川は「テーマパーク」が高い。函館・湯の川温泉は「夕食」「温泉」に集中、帯広は「スイーツ」が高い。

日帰り旅行の目的は、1位「昼食に地元の美味しいもの」、2位「ドライブ」、3位「温泉」。エリア別では、宿泊旅行と同様の傾向が見られた。

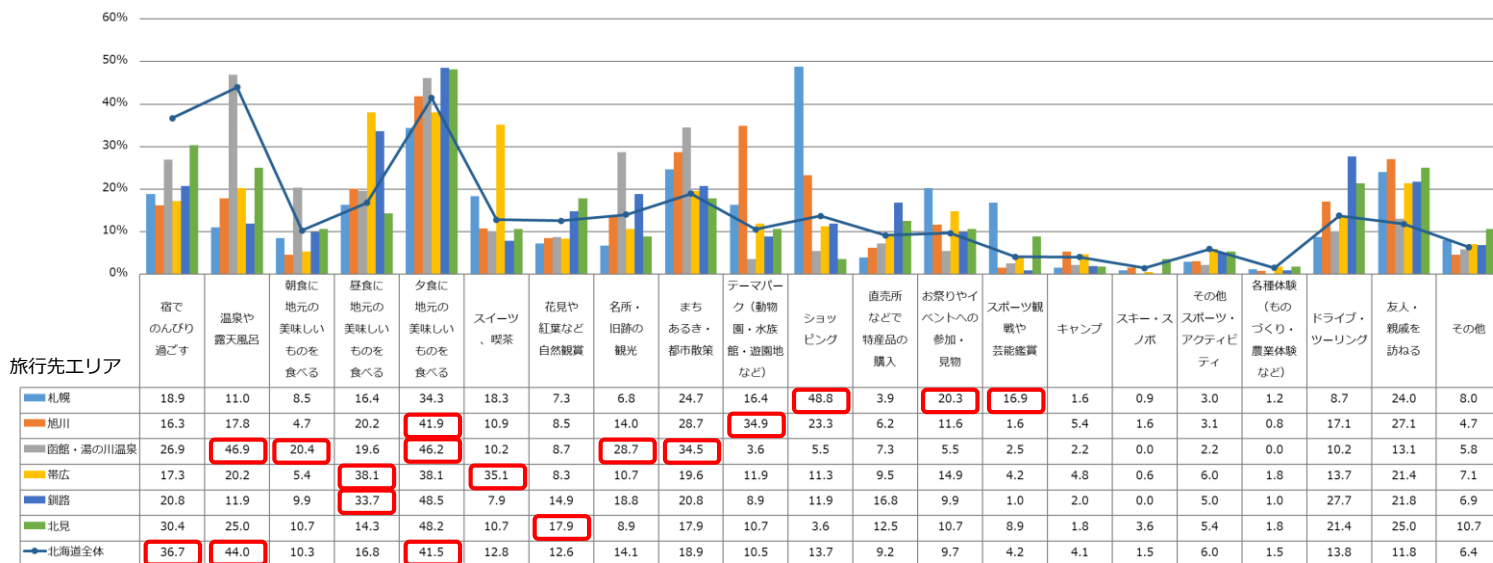
宿泊旅行の目的では、札幌は「お祭り・イベント」や「スポーツ観戦・芸能鑑賞」も北海道全体と比較し高い。旭川は「夕食」が昨年度（38.3%）より3.6ポイントアップ。函館・湯の川温泉は「朝食」「名所・旧跡観光」「まちあるき」も高い。帯広は北海道全体と比較し、「スイーツ」以外にも「昼食」が高くなっている。釧路でも「昼食」が昨年度（18.3%）より15.4ポイントアップ、北見では「自然観賞」が昨年度（0%）より大幅にアップし、17.9%となった。日帰り旅行の目的では、札幌は「お祭り」「スポーツ観戦」に加え「まちあるき」が北海道全体と比較し高く、旭川は「ショッピング」が「テーマパーク」に並ぶ。函館・湯の川温泉は「温泉」が突出、「名所観光」も北海道全体と比較し高い。帯広は「スイーツ」、釧路は「ショッピング」、北見は宿泊旅行と同様「自然観賞」が高い。

## 【宿泊旅行時の目的（複数回答）】

エリアへの宿泊旅行の目的について、エリアごとにTOP 3までを順番に選択（それぞれひとつずつ）

＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件・延べ回答数=10,899件＞

※エリアごとに目的のTOP 3までを合計し、旅行件数で割った数値

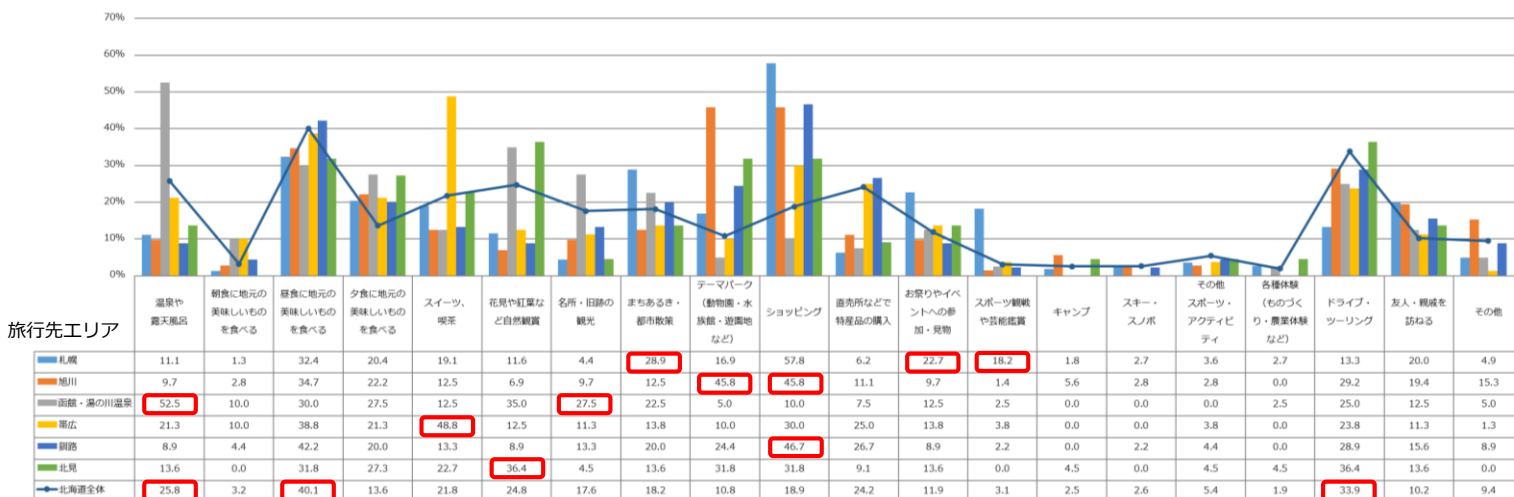


## 【日帰り旅行時の目的（複数回答）】

エリアへの日帰り旅行の目的について、エリアごとにTOP 3までを順番に選択（それぞれひとつずつ）

＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,159件・延べ回答数=6,477件＞

※エリアごとに目的のTOP 3までを合計し、旅行件数で割った数値





# 「特定の観光地に興味があった」「良い宿・ホテルがあった」「魅力的な温泉があった」が5割以上に

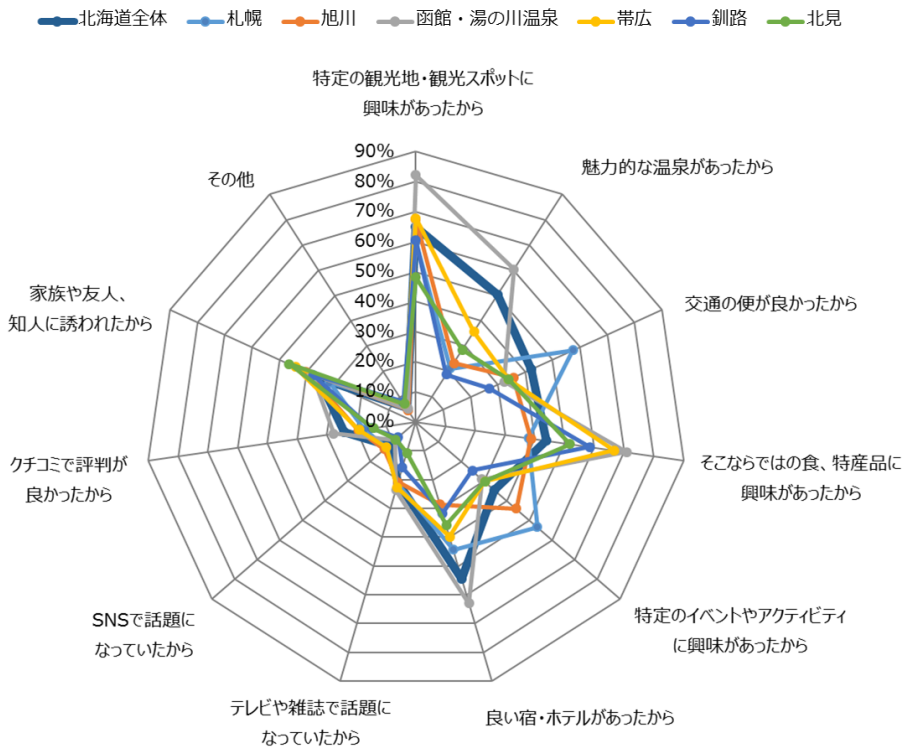
「特定の観光地・観光スポットに興味があった」64.8%、「良い宿・ホテルがあった」54.3%、「魅力的な温泉があった」50.3%が3大きっかけに。函館・湯の川温泉では「特定の観光地・観光スポットに興味があった」が8割を超える。

■札幌は「特定のイベントやアクティビティに興味があった」が53.6%と、北海道全体と比較しても高い。また、函館・湯の川温泉は「魅力的な温泉があった」「そこならではの食、特産品に興味があった」「良い宿があった」が6割を超え、また「クチコミで評判が良かった」も北海道全体と比較すると高い。帯広、釧路、北見は、いずれも「そこならではの食、特産品に興味があった」が高く、北見では「特定の観光地・観光スポットに興味があった」を上回る。

■旅行先を決める際に44.6%が他の旅行先を検討しており、昨年度（43.4%）より1.2ポイントアップしている。他の旅行先を検討しなかったエリアのランキングを見ると、「美瑛・白金温泉」が1位となり、71.4%が他を検討することなく旅行先を決めている。

## 【この旅行先を選んだきっかけ（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件>  
※「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた人の割合  
※今回より選択肢を変更



## 【他の旅行先を検討状況（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件>  
※他の旅行先を検討した・・・宿泊した旅行先の他に検討した旅行先として、いずれかの地域を回答した人の割合

旅行先エリア	他の旅行先を検討しなかった	検討した
北海道全体	55.4%	44.6%
札幌	56.2%	43.8%
旭川	68.2%	31.8%
函館・湯の川温泉	67.3%	32.7%
帯広	64.9%	35.1%
釧路	71.3%	28.7%
北見	69.6%	30.4%

◆他の旅行先を検討しなかった割合の高い  
エリアランキングTOP 5  
※集計サンプル15以上のエリアが対象

順位	旅行先エリア	他の旅行先を検討しなかった
1	美瑛・白金温泉	71.4%
2	釧路	71.3%
3	稚内	70.8%
4	北見	69.6%
5	天人峡・旭岳温泉・東川	68.4%

旅行先エリア	特定の観光地・観光スポットに興味があったから	魅力的な温泉があったから	交通の便が良かったから	そこならではの食、特産品に興味があったから	特定のイベントやアクティビティに興味があったから	良い宿・ホテルがあったから	テレビや雑誌で話題になっていたから	SNSで話題になっていたから	クチコミで評判が良かったから	家族や友人、知人に誘われたから	その他
北海道全体	64.8	50.3	42.3	43.9	34.5	54.3	21.1	12.1	24.1	35.6	5.4
札幌	60.0	21.0	57.5	37.9	53.6	44.3	21.4	13.0	17.4	31.7	6.4
旭川	67.4	23.3	35.7	38.8	44.2	28.7	20.9	14.0	19.4	40.3	4.7
函館・湯の川温泉	82.2	60.4	32.4	70.9	29.1	62.9	23.6	9.1	27.6	38.2	5.1
帯広	67.9	35.7	33.9	66.7	30.4	39.9	22.6	13.1	19.0	44.0	7.1
釧路	60.4	18.8	26.7	58.4	24.8	31.7	15.8	7.9	14.9	37.6	7.9
北見	48.2	28.6	33.9	51.8	30.4	35.7	10.7	8.9	14.3	46.4	7.1

# 満足度は「余市・仁木・キロロ」が95% リピート意向は「積丹・岩内」が1位

総合的な満足度は北海道全体で84.5%で、昨年度より2.5ポイント、  
リピート意向は86.8%で、昨年度より1ポイントアップした。

満足度ではTOP3に変動はない。リピート意向では、昨年度11位の「積丹・岩内」が  
大きくランクを上げ、1位に。「天人峡・旭岳温泉・東川」は、満足度・リピート  
意向ともに大幅アップし、TOP10入りを果たした。

■満足度・リピート意向ともに大きな変化がある中、「余市・仁木・キロロ」「知床（ウトロ・羅臼）」「函館・湯の川温泉」「登別温泉」は、昨年度同様に上位を維持している。満足度においては「洞爺湖温泉」「網走・大空・美幌」「根室・別海・中標津」が大きくランクを上げ、TOP10入りを果たした。リピート意向においては「富良野」、他の旅行先を検討しなかった割合の高かった「美瑛・白金温泉」が大きくランクアップした。

■テーマ別評価では、旭川で「交通の利便性の良さ」が昨年度（34.2%）から10ポイント、帯広では「魅力ある特産品や土産物の多さ」が昨年度（63.2%）より10.6ポイント、「地元の人へのホスピタリティ」が昨年度（21.7%）より8.1ポイントアップと大きく上昇した。また、北海道全体で見ても「観光情報の入手しやすさ」「交通の利便性の良さ」「現地までの距離の近さ」を除く7項目で、昨年度より評価がアップしている。

## 【総合的な満足度（単一回答）】

旅行先としての総合的な満足度（それぞれひとつずつ）  
＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件＞

※集計サンプル15以上のエリアが対象  
※総合的な満足度＝  
「とても満足」  
「やや満足」  
と回答した人の割合

順位	旅行先エリア	総合的な満足度	昨年順位 (全体は%)
北海道全体			
		84.5%	82.0%
1	余市・仁木・キロロ	95.0%	1
2	知床（ウトロ・羅臼）	94.7%	2
3	利尻・礼文	93.3%	3
4	洞爺湖温泉	93.1%	13
5	函館・湯の川温泉	90.5%	6
6	天人峡・旭岳温泉・東川	89.5%	27
7	網走・大空・美幌	89.4%	36
8	登別温泉	89.31%	7
9	根室・別海・中標津	89.29%	38
10	積丹・岩内	88.6%	4
19	帯広	85.7%	19
20	札幌	85.4%	32
23	旭川	82.9%	33
25	釧路	82.2%	39
39	北見	73.2%	18

## 【リピート意向（単一回答）】

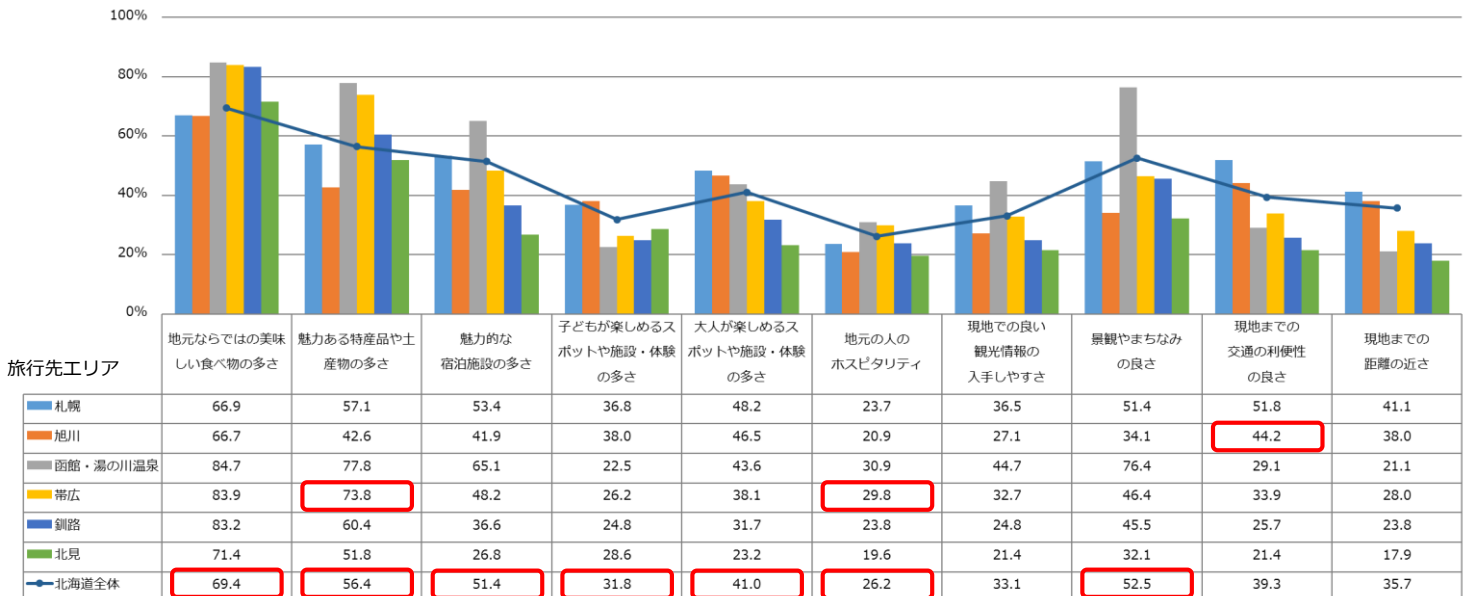
もう一度宿泊旅行で出かけたい旅行先か（それぞれひとつずつ）  
＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件＞

※集計サンプル15以上のエリアが対象  
※リピート意向＝  
「そう思う」  
「ややそう思う」  
と回答した人の割合

順位	旅行先エリア	リピート意向	昨年順位 (全体は%)
北海道全体			
		86.8%	85.8%
1	積丹・岩内	95.5%	11
2	天人峡・旭岳温泉・東川	94.7%	26
3	登別温泉	93.1%	8
4	函館・湯の川温泉	92.7%	4
5	洞爺湖温泉	92.4%	2
6	知床（ウトロ・羅臼）	92.0%	6
7	富良野	90.2%	27
8	余市・仁木・キロロ	90.0%	5
9	定山溪温泉	89.4%	9
10	美瑛・白金温泉	89.3%	40
12	札幌	88.8%	14
14	旭川	88.4%	34
17	帯広	87.5%	12
18	釧路	87.1%	35
36	北見	78.6%	37

## 【テーマ別評価（単一回答）】

旅行先としての項目別の評価（それぞれひとつずつ）  
＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件＞  
※テーマ別評価＝「とても満足」「やや満足」と回答した人の割合



「地元ならではの美味しい食べ物の多さ」「魅力ある特産品や土産物の多さ」で「函館・湯の川温泉」「帯広」が1位、2位に

「利尻・礼文」が「景観やまちなみの良さ」で1位など、5テーマでTOP5入り。  
「小樽」「トマム・占冠」が4テーマで、「ルスツ・真狩・京極」「石狩・当別・新篠津」が3テーマでランクイン。

「釧路」が「地元ならではの美味しい食べ物の多さ」で順位を上げ3位となり、初のランクイン。「トマム・占冠」が「魅力的な宿泊施設の多さ」で3位、「江別・恵庭・北広島」が「大人が楽しめるスポットや施設・体験の多さ」で4位、「子どもが楽しめるスポットや施設・体験の多さ」で5位と今年TOP5入り。また「岩見沢・美唄・三笠」は「現地までの交通の利便性の良さ」、「現地までの距離の近さ」で2位となっている他、「留萌・増毛」が「子どもが楽しめるスポットや施設・体験の多さ」で3位、「地元の人へのホスピタリティ」で4位と大きく順位を上げている。「現地での良い観光情報の入手しやすさ」では、「富良野」が2位、「ルスツ・真狩・京極」が4位にランクイン、「地元の人へのホスピタリティ」では「余市・仁木・キロロ」が一昨年度31位、昨年度4位と順位を上げていたが、今年ついに1位となった。

【テーマ別評価 エリアランキング（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=3,633件>

※集計サンプル15以上のエリアが対象

※テーマ別評価＝「とても満足」「やや満足」と回答した人の割合

順位	地元ならではの美味しい食べ物の多さ	満足度	昨年順位
北海道全体		69.4%	
1	函館・湯の川温泉	84.7%	2
2	帯広	83.9%	3
3	釧路	83.2%	9
4	知床（ウトロ・羅臼）	80.0%	1
4	利尻・礼文	80.0%	6

順位	魅力ある特産品や土産物の多さ	満足度	昨年順位
北海道全体		56.4%	
1	函館・湯の川温泉	77.8%	3
2	帯広	73.8%	9
3	知床（ウトロ・羅臼）	70.7%	1
4	中札内・更別・大樹・広尾	66.7%	13
5	小樽	66.5%	5

順位	景観やまちなみの良さ	満足度	昨年順位
北海道全体		52.5%	
1	利尻・礼文	80.0%	7
2	函館・湯の川温泉	76.4%	3
3	松前・江差・上ノ国	75.0%	19
4	小樽	68.2%	1
5	美瑛・白金温泉	67.9%	2

順位	魅力的な宿泊施設の多さ	満足度	昨年順位
北海道全体		51.4%	
1	登別温泉	76.7%	1
2	十勝川温泉	70.1%	6
3	トマム・占冠	69.2%	12
4	洞爺湖温泉	66.7%	5
5	函館・湯の川温泉	65.1%	4

順位	大人が楽しめるスポットや施設・体験の多さ	満足度	昨年順位
北海道全体		41.0%	
1	ルスツ・真狩・京極	66.0%	2
2	トマム・占冠	65.4%	1
3	利尻・礼文	53.3%	6
4	江別・恵庭・北広島	50.0%	16
4	余市・仁木・キロロ	50.0%	3

順位	現地までの交通の利便性の良さ	満足度	昨年順位
北海道全体		39.3%	
1	定山溪温泉	57.2%	3
2	岩見沢・美唄・三笠	56.0%	15
3	石狩・当別・新篠津	54.5%	6
4	栗山・長沼・由仁・夕張	51.9%	5
5	札幌	51.8%	4

順位	現地までの距離の近さ	満足度	昨年順位
北海道全体		35.7%	
1	定山溪温泉	58.3%	2
2	岩見沢・美唄・三笠	56.0%	12
3	石狩・当別・新篠津	54.5%	4
4	苫小牧・白老	46.43%	43
5	小樽	46.37%	6

順位	現地での良い観光情報の入手しやすさ	満足度	昨年順位
北海道全体		33.1%	
1	利尻・礼文	53.3%	1
2	富良野	47.5%	13
3	トマム・占冠	46.2%	3
4	ルスツ・真狩・京極	46.0%	19
5	函館・湯の川温泉	44.7%	7

順位	子どもが楽しめるスポットや施設・体験の多さ	満足度	昨年順位
北海道全体		31.8%	
1	ルスツ・真狩・京極	56.0%	1
2	トマム・占冠	50.0%	2
3	留萌・増毛	43.5%	40
4	石狩・当別・新篠津	42.4%	5
5	江別・恵庭・北広島	42.3%	14

順位	地元の人へのホスピタリティ	満足度	昨年順位
北海道全体		26.2%	
1	余市・仁木・キロロ	50.0%	4
2	利尻・礼文	46.7%	1
3	松前・江差・上ノ国	35.0%	6
4	留萌・増毛	34.8%	49
5	小樽	34.6%	8

# 居住地別に見る直近1年間で訪れた北海道内の 宿泊旅行・日帰りお出かけ先ランキング

直近1年間に宿泊旅行をした人で、函館、帯広、釧路、北見居住者の6割以上が「札幌」に宿泊。「小樽」「帯広」への宿泊も、4エリアでTOP5入り。

「帯広」が札幌居住者の宿泊先として5位（昨年度7位）に、旭川居住者の宿泊先として4位（昨年度8位）にランクイン。函館居住者の宿泊先TOP5は昨年度からの動きはないが、「札幌」が昨年度（67.3%）から4.2ポイントアップし7割を超えた。帯広、釧路、北見居住者は、「札幌」「小樽」といった道央圏と、「釧路」「阿寒湖温泉」「十勝川温泉」「川湯・屈斜路」「帯広」などの道東圏への宿泊旅行に二分されている。日帰りのお出かけ先としては、昨年度同様にどの居住地でも近郊エリアの割合が高い。

## 【居住地別 宿泊旅行・日帰りお出かけ先ランキング（複数回答）】

2018年4月～2019年3月で北海道の地域の中で、「宿泊を伴う北海道旅行」「日帰りのお出かけ」それぞれで訪れたエリアを全て選択（いくつでも）

【札幌居住者】（N=929）

宿泊		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	定山溪温泉	36.4%
2	函館・湯の川温泉	24.0%
3	札幌	18.8%
4	小樽	16.4%
5	帯広	16.3%

日帰り		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	小樽	28.8%
2	札幌	23.0%
3	定山溪温泉	17.5%
4	支笏湖・千歳	16.5%
5	江別・恵庭・北広島	14.6%

【旭川居住者】（N=214）

宿泊		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	43.5%
2	定山溪温泉	23.4%
3	小樽	18.2%
4	帯広	16.4%
5	上川・層雲峡温泉	15.4%

日帰り		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	23.8%
2	富良野	18.2%
3	美瑛・白金温泉	16.4%
4	旭川	11.7%
4	留萌・増毛	11.7%

【函館居住者】（N=214）

宿泊		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	71.5%
2	定山溪温泉	18.2%
2	小樽	18.2%
4	洞爺湖温泉	16.4%
5	函館・湯の川温泉	15.9%

日帰り		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	大沼・七飯・森・鹿部	23.8%
2	北斗・木古内・知内・福島	20.6%
3	松前・江差・上ノ国	19.2%
4	八雲・長万部・今金・せたな	18.2%
5	札幌	16.4%

【帯広居住者】（N=157）

宿泊		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	66.9%
2	釧路	15.9%
3	阿寒湖温泉	14.6%
4	十勝川温泉	13.4%
5	小樽	12.7%

日帰り		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	28.7%
2	釧路	24.8%
3	中札内・更別・大樹・広尾	22.3%
3	陸別・足寄・本別・池田	22.3%
5	新得・清水・芽室	16.6%

【釧路居住者】（N=157）

宿泊		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	64.3%
2	阿寒湖温泉	25.5%
3	帯広	22.3%
4	川湯・屈斜路	15.3%
5	十勝川温泉	14.0%

日帰り		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	帯広	26.1%
2	阿寒湖温泉	14.6%
3	根室・別海・中標津	14.0%
3	鶴居・白糖・標茶	14.0%
5	厚岸・浜中	13.4%

【北見居住者】（N=146）

宿泊		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	65.1%
2	旭川	19.9%
3	帯広	19.2%
4	釧路	17.1%
4	阿寒湖温泉	17.1%

日帰り		
順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	網走・大空・美幌	29.5%
2	帯広	19.2%
2	旭川	19.2%
4	湧別・遠軽・サロマ	14.4%
5	北見	13.7%

## 宿泊・日帰り旅行ともに、年間を通して札幌への旅行が多い。宿泊旅行では、冬季に限らず、4月・5月・10月・11月でも温泉地への旅行者が多い。

宿泊旅行では「定山溪温泉」「函館・湯の川温泉」がすべての月でランクイン。特に4月～8月では「函館・湯の川温泉」の割合が、9月～3月では「定山溪温泉」の割合が高い。7月～9月は「ニセコ・倶知安・蘭越」への旅行者が増える。日帰り旅行では「小樽」への旅行も多い。4月・5月では「帯広」、6月・7月では「積丹・岩内」、8月・9月では「ニセコ・倶知安・蘭越」、10月・11月は「支笏湖・千歳」、12月～3月は「定山溪温泉」「帯広」への旅行者が増える。

### 【月別 宿泊旅行先ランキング（複数回答）】

＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数＝3,633件＞

※集計サンプル15以上のエリアが対象

4月			5月			6月			7月		
順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%
1	札幌	20.6	1	札幌	12.5	1	札幌	17.0	1	札幌	14.8
2	函館・湯の川温泉	12.8	2	函館・湯の川温泉	11.2	2	定山溪温泉	7.6	2	函館・湯の川温泉	7.9
3	定山溪温泉	12.2	3	定山溪温泉	8.4	3	函館・湯の川温泉	6.7	3	定山溪温泉	7.5
4	小樽	4.4	4	洞爺湖温泉	7.5	4	小樽	5.8	4	ニセコ・倶知安・蘭越	5.2
4	洞爺湖温泉	4.4	5	十勝川温泉	3.7	5	帯広	4.9	4	富良野	5.2
			5	登別温泉	3.7						

8月			9月			10月			11月		
順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%
1	札幌	16.0	1	札幌	10.8	1	定山溪温泉	12.4	1	札幌	17.4
2	函館・湯の川温泉	6.6	2	定山溪温泉	7.3	2	札幌	10.9	2	定山溪温泉	12.3
3	定山溪温泉	6.2	3	小樽	6.5	3	函館・湯の川温泉	7.1	3	函館・湯の川温泉	7.8
4	帯広	6.0	3	ニセコ・倶知安・蘭越	6.5	4	登別温泉	6.2	3	登別温泉	7.8
5	ニセコ・倶知安・蘭越	4.9	5	函館・湯の川温泉	5.1	5	洞爺湖温泉	5.6	5	洞爺湖温泉	6.8

12月			1月			2月			3月		
順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%
1	札幌	18.4	1	定山溪温泉	17.9	1	札幌	17.3	1	札幌	20.4
2	定山溪温泉	17.0	2	札幌	12.1	2	定山溪温泉	11.1	2	定山溪温泉	10.0
3	函館・湯の川温泉	8.7	3	函館・湯の川温泉	9.2	3	登別温泉	6.7	3	小樽	6.4
4	登別温泉	7.8	4	阿寒湖温泉	6.7	4	函館・湯の川温泉	5.3	3	函館・湯の川温泉	6.4
5	小樽	6.3	5	小樽	5.8	5	帯広	4.3	5	帯広	5.1
						5	北見	4.3			

### 【月別 日帰り旅行先ランキング（複数回答）】

＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数＝2,159件＞

※集計サンプル15以上のエリアが対象

4月			5月			6月			7月		
順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%
1	札幌	11.5	1	小樽	6.6	1	小樽	11.7	1	富良野	12.2
2	小樽	10.3	2	支笏湖・千歳	4.6	2	札幌	6.7	2	小樽	9.4
3	定山溪温泉	7.7	2	帯広	4.6	2	積丹・岩内	6.7	3	積丹・岩内	8.2
4	帯広	6.4	4	札幌	4.1	4	ニセコ・倶知安・蘭越	5.6	4	美瑛・白金温泉	7.3
5	松前・江差・上ノ国	5.1	4	網走・大空・美幌	4.1	5	富良野	5.0	5	支笏湖・千歳	6.1

8月			9月			10月			11月		
順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%
1	小樽	7.9	1	札幌	10.3	1	札幌	8.2	1	小樽	14.3
2	札幌	7.6	2	ニセコ・倶知安・蘭越	6.5	2	小樽	7.7	2	札幌	10.4
3	富良野	6.6	3	小樽	5.6	3	支笏湖・千歳	7.2	3	定山溪温泉	7.8
4	ニセコ・倶知安・蘭越	6.3	4	定山溪温泉	4.7	4	定山溪温泉	6.3	3	支笏湖・千歳	7.8
5	支笏湖・千歳	5.6	4	余市・仁木・キロロ	4.7	4	富良野	6.3	5	江別・恵庭・北広島	5.2
									5	洞爺湖温泉	5.2
									5	上川・層雲峡温泉	5.2

12月			1月			2月			3月		
順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%	順位	旅行先エリア	%
1	札幌	17.2	1	札幌	11.5	1	札幌	19.8	1	札幌	18.9
2	定山溪温泉	15.5	1	小樽	11.5	2	定山溪温泉	7.5	2	小樽	9.2
3	小樽	10.3	3	阿寒湖温泉	7.3	2	小樽	7.5	3	帯広	5.3
4	ニセコ・倶知安・蘭越	6.9	4	定山溪温泉	6.3	4	帯広	6.6	4	定山溪温泉	3.9
4	旭川	6.9	4	石狩・当別・新篠津	6.3	4	旭川	6.6	4	北斗・木古内・知内・福島	3.9